

文化理解ゼミ 標茶活性化班



きっかけ

- ① 音頭保存会メンバーの高齢化
- ② 若者に音頭を引き継いでもらいたい

活動したいと思ったこと

- ① まずは自分たちが音頭を知る
- ② 保存会の方とつながる
- ③ DVDや冊子をつくる

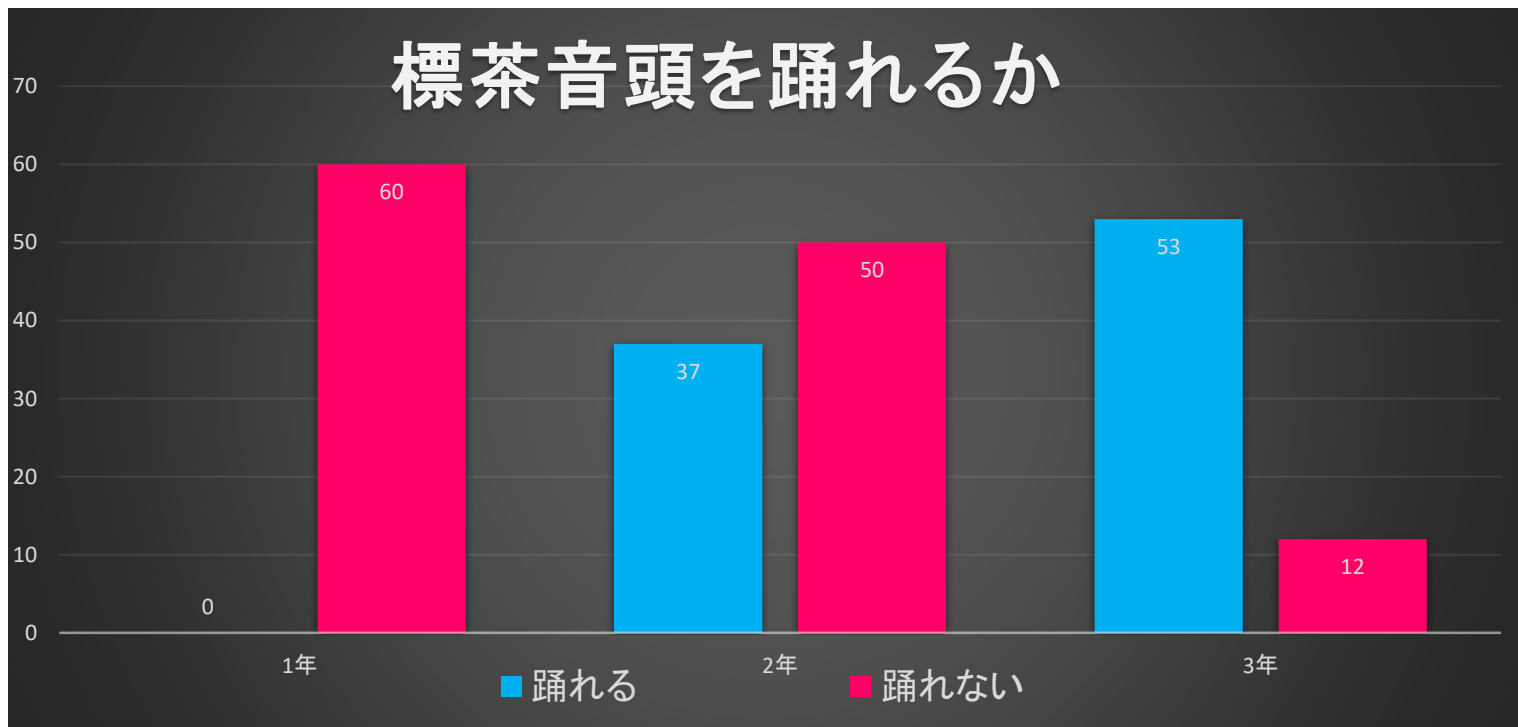
活動目標

- ① 標茶町の財産として音頭を保存すること(最終目標)
- ② 学生の立場で音頭をさまざまな人に知らせる

活動内容は5つ

- ① 標茶音頭に関するアンケート
- ② 資料集め、学習、疑問点を出す
- ③ 音頭保存会の方に教えてもらう
- ④ 冊子づくり
- ⑤ DVD作成

アンケート結果



活動内容は5つ

- ① 標茶音頭に関するアンケート
- ② 資料集め、学習、疑問点を出す
- ③ 音頭保存会の方に教えてもらう
- ④ 冊子づくり
- ⑤ DVD作成

標茶音頭保存会の方に教わる様子



活動内容は5つ

- ① 標茶音頭に関するアンケート
- ② 資料集め、学習、疑問点を出す
- ③ 音頭保存会の方に教えてもらう
- ④ 冊子づくり
- ⑤ DVD作成

成果と課題

① 標茶音頭に関するアンケート

【成果】

- ・現状把握することができた

【課題】

- ・「一緒に踊りたい」との声に答えられなかった。

成果と課題

②資料集め、学習、疑問点を出す

【成果】

- ・図書館から資料をもらって学習できた
- ・疑問点を保存会の方に聞いて解消した

成果と課題

③音頭保存会の方に教えてもらう

【成果】

- ・直接教えてもらうことができた

成果と課題

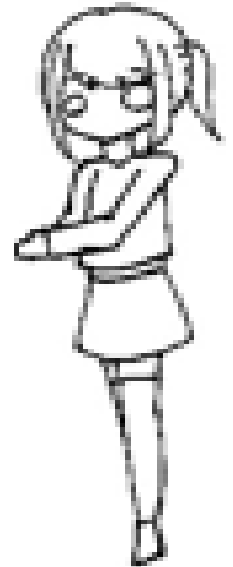
④冊子づくり

【成果】

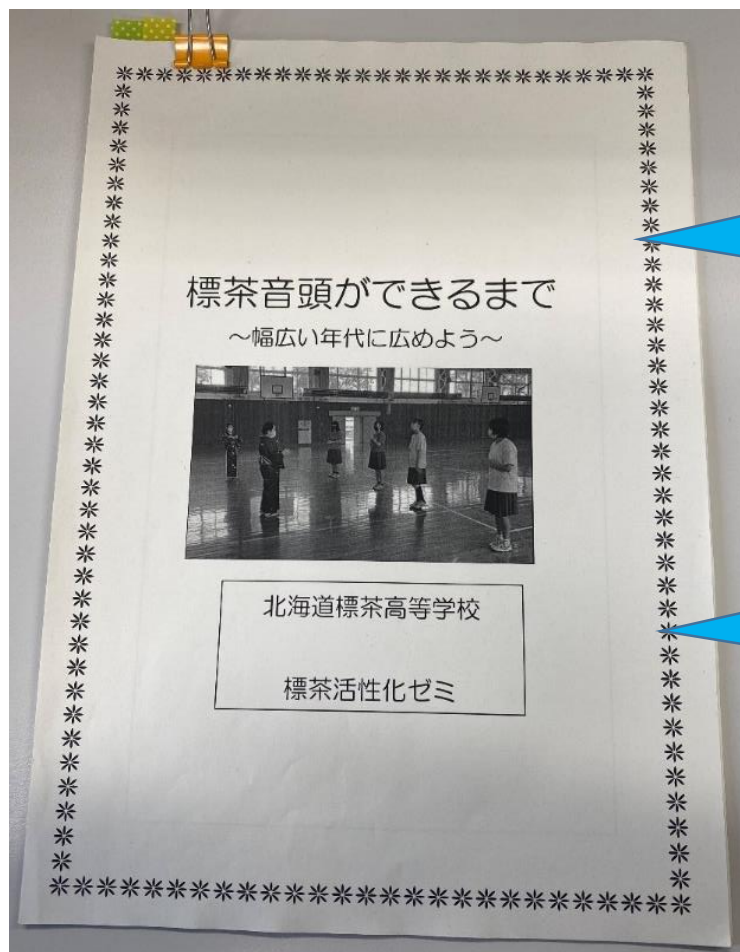
- ・自分たちの手で作ることができた。

【課題】

- ・配布はできていない。



冊子を幼稚園、保育園、小学校、中学校に配布しようと考え、作成しました！



保存するために
作りました！

低学年でもわかる
ように読み仮名を
付け足しました！

成果と課題

⑤DVD制作

【成果】

- ・自分たちの手で作ることができた。

【課題】

- ・配布はできていない。

評価

地域性 → B

独創性 → A

協働性 → A

客観性 → C

発展性 → C

次年度への展望

- ①小学生に対して標茶音頭を教える機会を設けたい
- ②町民のみなさんと一緒に音頭を踊る機会を設けたい